

九州広域データ連携プラットフォーム(QDP)の検討状況

1 「QDP検討会」の検討状況（2023年8月～2024年4月）

- 2023年8月以降、計5回の検討会を開催。
座長：長崎総合科学大学名誉教授 横山氏 / 委員：各県デジタル主管部局、4経済団体 /
アドバイザー：有識者（6名） / オブザーバ：基礎自治体（18市町村）、デジタル庁、
九総通、九経局（事務局：福岡県/長崎県/九経連）
- 検討会では、**ユースケース創出を最優先事項**として、検討会メンバーからアイデアを募ると共に、民間企業等から「アイデア公募」を行い、これらのユースケースについて議論（12月～4月）。

2 取り組むユースケースの分野について

- 「アイデア公募」（12月～2月）の応募総数：**54件**（QDP検討会委員提案アイデア(5件)含む）。
- アイデア評価及び第5回QDP検討会での議論（4/17開催）を踏まえ、応募数も多く、かつ、広域連携のメリットがあると想定される、**「防災」および「観光」の2分野**のユースケースについて検討を行うこととした。
- 上記アイデアの他、引越しや子育てのワンストップサービス等、**評価が高いユースケースについては**、検討すべき内容を明確にした上で取り組み方を判断することとしており、**継続して協議**を行う。

3 今後の進め方

- 今後は、「**防災**」と「**観光**」分野について、他の官民連携プロジェクトの検討状況も踏まえながら、ユースケースの具体化と、実現のための課題（例：広域でのデータ連携方法、データ活用に必要な仕組み・ルール、データセット等）の整理、およびそれらの解決方法について検討。
- 検討にあたり、**分野毎に「検討WG」**を設置。検討WGには、検討会メンバーに加えて、アイデア応募者、データを保有する民間企業、各分野の専門機関や団体等に参画を打診。
- QDP検討会では、「検討WG」における分野毎の検討や、他プロジェクトの動向等を踏まえて、それらに共通する広域データ連携の仕組み・ルールについて検討。

QDP検討会(2023年度)

座長

委員

(県、経済団体)

アドバイザー

(九州域内有識者)

オブザーバ

(基礎自治体、省庁)

【2023年度実施内容】

- 先行事例収集
- ユースケース検討/アイデア公募
- データセット等の詳細検討を行うユースケースを選定(2024年4月)。

QDP検討会(2024年度)

座長

委員

(県、経済団体)

アドバイザー

(九州域内有識者)

オブザーバ

(基礎自治体、省庁)

「防災」ユースケース
検討WG(仮称)
(検討会メンバー + 民間企業、
専門機関・団体等)

「観光」ユースケース
検討WG(仮称)
(検討会メンバー + 民間企業、
専門機関・団体等)

【2024年度実施内容】

- 分野毎に検討WGを設置。ユースケースの具体化や実現のための課題整理&解決方法の検討。
- 検討WGには民間企業、専門機関等へ参画を打診。
- 検討会では、検討WGでの議論内容や他PJの動向を踏まえ、共通の仕組み・ルール等を検討。

<参考1> 応募ユースケース一覧

「アイデア公募」(12月～2月)に応募いただいた、「サービスモデル名/分野」の一覧

	提案内容(サービスモデル名)	分野
1	「つながる長崎」データ連携基盤(ながさきデータマップ他)を活用した、地域の気象情報モニタリングサービス	防災
2	データ連携基盤を活用した広域防災支援	防災
3	パーソナライズ型防災サービス「マイハザード」	防災
4	既設水門に後付けで遠隔自動制御機能を付与することによる防災・減災の実現へ向けた取り組み	防災
5	災害時医療支援サービス	防災
6	防災時の共助実現	防災
7	バス停を起点とした施設情報の発信	防災
8	バイシエントジャーニー起点とした、次世代医療機関モデルの構築及び災害時に使用可能な医療サービス	防災
9	県を跨いだ広域災害を想定した避難者支援業務のデジタル化	防災
10	各県各種災害データのQDPでの連携	防災
11	[防災・減災]災害時における迅速な情報共有/要支援者避難支援	防災
12	[防災・減災]共助を促進する支援者獲得施策	防災
13	官民連携した被災地支援を下支えするデータ活用	防災
14	災害情報プラットフォーム	防災
15	災害・事故疑似体験VR	防災
16	ワーケーション推進からはじめる観光産業の活性化のためのプラットフォーム構築	観光
17	産業観光等を起点とした観光DXサービス	観光
18	個人の関心に合わせた観光案内	観光
19	すき旅	観光
20	[地域経済活性化]観光周遊の仕掛けを作るポータルサービス	観光
21	観光ワンストップサービス	観光
22	引越しワンストップサービス	窓口DX
23	自治体向け通知物電子送付サービス「SpeedLetterPlus(R)」	窓口DX
24	官民ワンストップ窓口サービス	窓口DX
25	道路占用許可オンライン申請による官民における業務軽減	窓口DX
26	引越しワンストップサービス	窓口DX
27	データ連携基盤+アカデミック連携	教育
28	大学入試の志願フォームの入力自動化	教育
29	[教育]教育/習い事のマッチングによる地域住民交流促進	教育
30	大学共通受験願書共通化とオンライン申請	教育

	提案内容(サービスモデル名)	分野
31	IoTセンサーを活用した地域安全管理&情報収集サービス	交通・物流
32	持続可能な地域交通の構築	交通・物流
33	九州とどけ隊	交通・物流
34	健診受診率向上の実現	生活(健康)
35	生活習慣改善の動機付け	生活(健康)
36	デジタル認証IDを使ったオーバードーズ対策	生活(健康)
37	まちパト散歩	生活(健康)
38	[ヘルスケア]独居高齢者見守りサービス	生活(健康)
39	[ヘルスケア]重症化予防による生活習慣病の医療費適正化	生活(健康)
40	[ヘルスケア]社会疫学に基づく施策低減を通じた健康な街づくり支援	生活(健康)
41	エビデンスによるヘルスケア事業の高度化と医療費の適正化に向けて	生活(健康)
42	児童の食物アレルギーの把握による給食メニューの最適化と、安心して購入ができるアレルギー対策食料品の情報提供	生活(健康)
43	通院ワンストップサービス	生活(健康)
44	行政における健康寿命の取組み	生活(健康)
45	広域データ連携認証及び保険業務支援システム構築	生活(健康)
46	子育て支援・EBPMの実現	生活(子育て)
47	妊娠・子育てワンストップサービス	生活(子育て)
48	「@APPEAL」のサービスを使った、ホームページの普及、それに伴うDXの推進	その他
49	地域消費電力見える化プロジェクト	その他
50	留学生向け生活支援サービス	その他
51	ふるさと納税払いの拡大と情報発信	その他
52	LGPT連携アイデア	その他
53	[市民生活向上]民間活力による公園エリア価値向上	その他
54	デジタルIDを活用した地域バス・チケット管理アプリ「パスくる」の導入による九州における広域連携・官民連携の推進	その他

<参考2>「防災」「観光」ユースケース(※イメージ)

【防災】 (アイデア公募資料より抜粋)



LINE を活用した被災現場の情報連携サービス

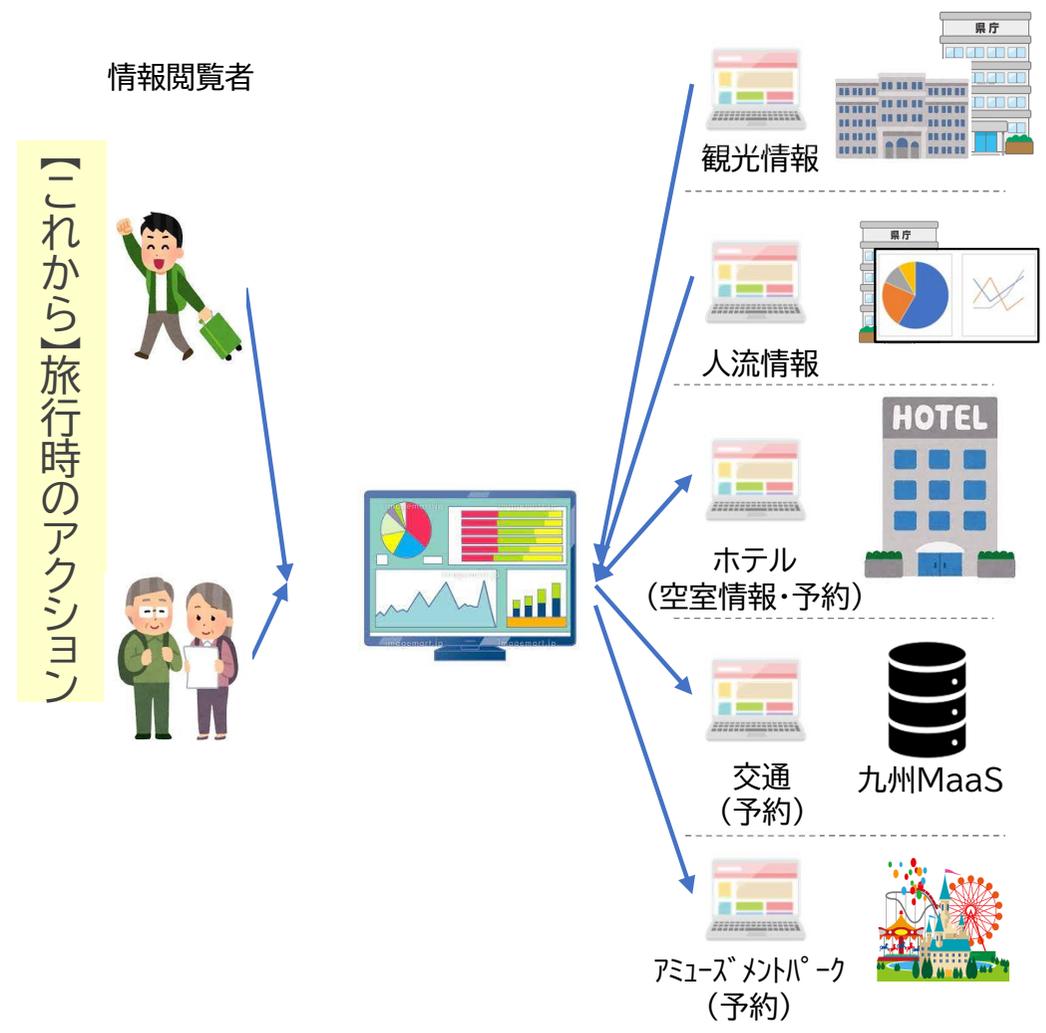
概要) LINEで画像を投稿。LINEプラットフォームからオープン系データ連携基盤に画像を連携し、地図上に可視化。



九州広域避難所備蓄共有システム

概要) 九州エリアの避難所と各避難所施設の備蓄管理情報を公開。パーソナルデータを活用して避難者名簿から避難所ごとに必要な物資を計算、支援が必要な場合は周辺の避難所から物資の輸送。

【観光】 (アイデア公募資料より抜粋)



概要) 各県・各自治体が保有するイベント情報の一元化。宿泊先、交通手段の一括予約も可能。ホテルの空き室情報や九州域内の人流・決済データ等を基に観光客を呼び込む戦略立案、および九州の周遊旅行を促す。